

寄贈図書リスト

美しくなければならぬ、グレアム・ファームロ、
四六判、424 p、¥2,500、紀伊國屋書店

火山とクレーターを旅する、白尾元理、四六判、232 p、
¥1,500、地人書館
東京大学マグナム望遠鏡物語、吉井 譲、四六判、
211 p、¥2,800、東京大学出版会

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

名古屋大学太陽地球環境研究所教官

1. 教授又は助教授 1~2 名
2. 太陽圏環境部門（勤務地：東山分室）
3. 今回の人事公募では、教授は、今までの宇宙線グループの実験的研究を、新しい研究テーマとともにリーダーシップを持って発展・推進できる方を、助教授は、ニュージーランドでの暗天体の探索と、宇宙線グループの活動を積極的に推進できる方を求めます。全国共同利用研究所としての任務を十分理解され、大学院理学研究科の協力講座として、学生の教育にも熱意のある方を希望します。
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有すること。
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷、研究計画書、2 名の方からの推薦書又は本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先を記入した書面。なお、提出書類は返却しない。
8. 2003 年 11 月 28 日（金）（必着）

9. (1) 〒442-8507 豊川市穂ノ原 3-13
名古屋大学太陽地球環境研究所長 上出洋介
(2) 〒464-8601 名古屋千種区不老町
名古屋大学太陽地球環境研究所東山分室
太陽圏環境部門主任 村木 綏
Tel: 052-789-4314 Fax: 052-789-4313
E-mail: muraki@stelab.nagoya-u.ac.jp
10. 封筒に「教官公募書類在中」と朱書きし、書留で送付のこと。
11. 名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき、同運営協議会の意見を求めて、同教授会で決定します。ただし、該当者がいない場合は決定を保留します。

国立天文台教官

電波天文学研究系教授

1. 教授 1 名
2. (1) 電波天文学研究系
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学
4. 野辺山宇宙電波観測所は、円熟期を迎えた 45 m ミリ波望遠鏡と 6 素子ミリ波干渉計による先進的観測研究を進める一方、来年度から建設参加が予定されている ALMA や VLBI 分野の諸プロジェクトを支えるなど、役割は変化しつつもその重要性はますます高まっています。天文学全般の方向性を展望しながら、我が国の電波観測の中核である野辺山宇宙電波観測所の研究活動を高め、その将来に向けた一層の活性化をリードする意欲に燃える研究者を求めます。

5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了, 又はそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書のほかに, 前記事項 (1)~(4) の概要がわかる事項.
8. 2003年11月10日(月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台電波天文学研究系主幹 近田義広
Tel: 0422-34-3568
E-mail: CHIKADA.Yoshihiro@nao.ac.jp
10. 封筒に「電波天文学研究系教授人事応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい. 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

国立天文台教官

天文学データ解析計算センター助手

1. 助手 1名
2. (1) 天文学データ解析計算センター
(2) 三鷹市
3. データベース天文学
4. 天文学データ解析計算センターでは, 世界中に分散する多波長にわたる天文データベースと連携する統合天文データベースを開発し, 次世代の天文学研究環境の実現に向けて Japanese Virtual Observatory (JVO) 計画を進めています. 今回, 天文学データ解析計算センターの運営に携わると共に, 熱意を持って JVO の開発に取り組み, データベース天文学の研究を積極的に推進する若手研究者を求めます.
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に前記事項 (1)~(4) の概要がわかる書類
8. 2003年12月19日(金) 必着
9. (1) 提出先: 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 問合せ先: 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台天文学データ解析計算センター長 水本好彦
Tel: 0422-34-3514
E-mail: mizumoto.y@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「天文学データ解析計算センター人事応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい. 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

研究会・集案案内

2003年ALMA公開講演会

天文学講演会『アンデスの巨大電波望遠鏡「アルマ」実現のために—アルマで宇宙の謎にせまる!—』のお知らせ

主催: 国立天文台, 大阪市立科学館

後援: 日本天文学会

日時: 平成15年11月1日(土) 実験と講演の2部構成です.

実験: 14時から16時30分まで「電波望遠鏡のしくみ」

講演: 17時開場 17時30分開会 20時30分閉会

会場: 大阪市立科学館 (実験: アトリウム, 講演: プラネタリウム)

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-1

Tel: 06-6444-5656 Fax: 06-6444-5657

<http://www.sci-museum.kita.osaka.jp/>

内容: 実験と講演の2部構成

第1部 実験でさぐる電波望遠鏡のしくみ (会場: アトリウム)

受信機などALMA関係の技術的なものについての展示と実験, ALMAの説明ポスター, 模型, ビデオなど (大阪府立大学宇宙物理学研究室, 兵庫医科大学物理学教室).

第2部 講演会 (会場: プラネタリウム)

ALMAの経過説明

阪本成一 (国立天文台)

『『ビッグバン』はあった』

松田卓也 (神戸大学)

「宇宙の謎にいどむ『アルマ』」

小川英夫 (大阪府立大学)

参加方法:

第2部の講演会に参加される方は申し込みが必要です。第1部は申し込みの必要ありませんが、展示場への入場は有料です。第2部の講演会に参加希望の方は平成15年10月22日(水)まで往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・一緒に参加希望する人の氏名・年齢を列記して、下記へ送付して下さい。

受け付け先: 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

大阪市立科学館「ALMA 公開講演会」係

参加費: 無料(一般展示, 一般プラネタリウム投影などは有料です)

定員: 300名

対象: 主として中学生以上

問合せ先:

(講演会の内容について)

国立天文台 ALMA 計画準備室

Tel: 0422-34-3843 Fax: 0422-34-3764

<http://www.nro.nao.ac.jp/alma>

(参加申込・会場などについて)

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

Tel: 06-6444-5656 Fax: 06-6444-5657

<http://www.sci-museum.kita.osaka.jp/>

世話人: 米倉 覚則(大阪府立大学), 渡部義弥(大阪市立科学館), 宮脇亮介(福岡教育大学)

太陽観測と教育普及に関する研究集会 「昼間でもできる天文教育普及」

主催: 天文教育普及研究会関東支部会

太陽望遠鏡ワークショップ2003

後援: 高校生天体観測ネットワーク運営委員会

日本プラネタリウム協会

全日本プラネタリウム連絡協議会

日本プラネタリウム研究会

天体観測施設の会

太陽研究者連絡会

日本ハンズオンユニバース協会

〈主旨〉

太陽はわれわれにとって文字どおり最も身近な恒星です。全国には公開天文台や科学館など太陽望遠鏡を所有する多くの天文関係施設で、太陽観察を行っています。2000年から2001年の太陽活動極大期には、各施設で、活発な太陽の様子を紹介し、また、天文学の魅力を伝える身近な素材としても広く扱ってきたことと思います。

さてこのたび、川口市科学館がリニューアルし、併

設して新しい太陽望遠鏡が完成しました。これを機に、同科学館において「太陽望遠鏡ワークショップ」と「天文教育普及研究会関東支部」のジョイントによる研究会を行いたいと思います。テーマは「昼間でもできる天文教育普及」です。太陽観測の結果発表や、太陽を用いた教育実践、そのほか昼間でもできる天文教育普及実践を発表してほしいと思います。みなさまの参加をお待ちしております。

日時: 2003年11月30日(日)10時から17時

会場: 川口市上青木公民館

〒333-0844 川口市上青木3-1-37

川口市立科学館

〒333-0844 川口市上青木3-12-18

Tel: 048-262-8431 Fax 048-262-8481

<http://www.kawaguchi.science.museum/>

交通:

●JR 京浜東北線川口駅

〈バス〉東口7~9番乗り場 所要約13分

SKIPシティ西下車すぐ又は総合高校下車 徒歩5分

●JR 京浜東北線西川口駅

〈バス〉東口5番乗り場 所要約10分

SKIPシティ西下車すぐ又は総合高校下車 徒歩5分

●埼玉高速鉄道線: 鳩ヶ谷駅

〈バス〉西口3番乗り場 所要約12分

SKIPシティ西下車すぐ又は上青木小学校下車 徒歩5分

〈徒歩〉約20分(芝川歩道橋経由)

★みんななかまバス(川口市コミュニティバス)

神根・青木・芝循環 SKIPシティ西下車すぐ

★お車でお越しの方は、SKIPシティ駐車場(有料)をご利用下さい。

駐車料金1時間200円(当日最高1,000円)

参加費: 200円

テーマ: 「昼間でもできる天文教育普及」

内容:

10時から12時 科学館見学・天文台見学

13時から14時 レビュー講演「タイトル未定」

清水敏文氏(国立天文台太陽物理研究系助手)

14時から17時 各発表・報告

発表申込締切: 11月15日

※発表希望者は、必ずお申し込み下さい。

参加申込の取扱いについて:

※当日の申し込みも受付ますが、会場の連絡等でサーキュラーをお送りする場合があります。できるだけ11月15日までに、事前申込をお願いします。なお、

会場の変更等がある場合には、11月15日までに
<http://www.obs.misato.wakayama.jp/tenkyo/>
に掲載します。あらかじめご覧下さい。

【お申込・お問合せ】

〒306-0622 岩井市大字大崎 700
茨城県自然博物館 高橋 淳宛
Fax: 0297-38-1999
E-mail: kanto_solar@cosmo.kawabe.or.jp

担当

高橋 淳 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)
Tel: 0297-38-2000
矢治健太郎 (かわべ天文公園)
Tel: 0738-53-1120

※研究会後、懇親会を予定しております。

第19回京都賞記念ワークショップ基礎科学
部門シンポジウム

「宇宙電磁流体力学と太陽活動」

日時: 平成15年11月12日(水) 13:00~17:30
場所: 国立京都国際会館
企画: 佐藤文隆 [甲南大学理工学部教授]
柴田一成 [京都大学大学院理学研究科教授]
司会: 西田篤弘 [宇宙科学研究所名誉教授]
13:00 開会・挨拶 佐藤文隆
13:10 受賞者講演 ユージン・ニューマン・パー
カー (基礎科学部門受賞者)
「磁場の自発的不連続面と恒星X線コロナ」
14:00 柴田一成「宇宙電磁流体力学: 太陽風からリ
ネクションまで」
14:35 休憩

「太陽活動と地球環境」

講演テーマ

司会: 柴田一成
14:50 常田佐久 [国立天文台太陽物理学研究系
教授]
「ジーン・パーカーと太陽物理学の革命的進展」
寺沢敏夫 [東京大学大学院理学系研究科
教授]
「太陽圏・星間物質・宇宙線」
五家建夫 [宇宙開発事業団環境計測技術
グループ長]
「宇宙開発と太陽活動」
村木 綏 [名古屋大学太陽地球環境研究所
教授]
「太陽活動の長期変動と地球環境への影響」

17:10 質疑応答
17:20 挨拶 西田篤弘
17:30 閉会

主催/財団法人稲盛財団

後援/京都府 京都市 NHK

協賛/地球電磁気・地球惑星圏学会 日本天文学会
日本物理学会 日本惑星科学会

第1回市民講座

「宇宙の神秘に迫る—宇宙科学最前線—」のお
知らせ

京都大学の宇宙・天文グループの最新の研究成果を
中心に、関連する世界の宇宙・天文研究の最先端を、
一般向け(中高校生以上)にわかりやすく解説します。
ぜひご参加下さい。

日時: 2003年12月6日(土) 午後1時~5時

会場: 京都市青少年科学センター

講演プログラム:

特集テーマ「目で見えない宇宙の探求」

1. 小山勝二 X線で見えた宇宙
2. 舞原俊憲 赤外線でさぐる宇宙の始め
3. 中村卓史 重力波天文学

対象: 中高校生以上

定員: 220名(申込多数の場合は、申込ハガキ先着順)

受講料: 無料

申込方法: 往復ハガキに、住所、氏名、年齢、職業、
電話番号を記入の上、下記にお送り下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京大理学部 物理学第二教室内

京都大学 21世紀COE事務局

市民講座「宇宙の神秘に迫る」係

Tel: 075-753-3758

申込締切: 12月1日(月) 必着

定員オーバーの節はご了承下さい。

参考: 会場の京都市青少年科学センターへは公共交通
機関でお越し下さい。

京阪電車: 藤森駅下車、西へ400m

地下鉄・近鉄電車: 竹田駅下車、東へ1km

市バス南⑤・南⑧・臨南⑤: 青少年科学センター前
会場までの地図については以下を参照下さい。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/science/>

主 催: 京大21世紀COE「物理学の多様性と普遍性
の探求拠点」

<http://physics.coe21.kyoto-u.ac.jp/>

後 援: 京都市青少年科学センター、京都新聞社

世話人：柴田一成（京大理附属天文台）
 太田耕司（京大理宇宙物理学教室）
 小山勝二（京大理物理学第二教室）
 犬塚修一郎（京大理物理学第二教室）
 嶺重 慎（京大基礎物理学研究所）

ご覧下さい。若手天文学研究者の皆様の積極的な応募
 をお待ちしております。

早川幸男基金選考委員会

訂 正

96 卷 9 号に誤りがありました。訂正してお詫びいた
 します。

天球儀 500 ページ

正) 岡島 崇さんが X 線観測 (2003 年 3 号)

誤) 岡島佳樹さんが

月報だより 517 ページ

正) <http://www.realgraph.net/researchers/>

誤) <http://www.realgraph/researchers/>

会 務 案 内

早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金への次回の申請締切は 2003 年 12 月
 10 日です。渡航期間は募集対象期間は 2004 年 1 月 1
 日～3 月 31 日間です。詳細は、天文学会のホームペー
 ジ <http://www.asj.or.jp/> の「早川幸男基金」の部分を

本会へ 2003 年 6 月 29 日から 9 月 25 日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

* 正会員入会者 (38 名)

乾 達也	京大・大学院理(在学)	吉川智裕	東北大・大学院理(在学)
清水理絵	鹿児島大・大学院理(在学)	伊藤 健	東大・大学院理(在学)
伊藤昭治	東大・大学院理(在学)/宇宙科学研究所	山内良亮	東北大・大学院理(在学)
勝田 哲	大阪大・大学院理(在学)	佐藤裕司	名大・大学院理(在学)/千葉大・大学院理
根建 航	東大・大学院理(在学)/国立天文台・ハワイ	笹子宏史	名大・大学院理(在学)
中島 錦	大阪府立大・大学院理(在学)	興梠 淳	大阪府立大・大学院理(在学)
渡部裕貴	鹿児島大・大学院理(在学)	住田桜子	北大・大学院理(在学)
市川喜徳	総研大(在学)/宇宙科学研究所	山口弘悦	京大・大学院理(在学)
森尾一徹	学習院大・大学院理(在学)/宇宙科学研究所	粟野穰太	北大・大学院理(在学)
蒲原龍一	鹿児島大・大学院理(在学)/国立天文台	菅谷多都子	東京学芸大・大学院(在学)
伊藤邦夫	中央大・大学院(在学)	園田絵里	宮崎大・大学院(在学)
二河久子	東大・大学院理(在学)	大島綾子	京都産業大・大学院(在学)
渡部靖之	筑波大・大学院(在学)	山崎 徹	青山学院大・大学院(在学)
下農淳司	京大・大学院理(在学)	廣田晶彦	東大・大学院理(在学)/国立天文台・野辺山
大貫宏祐	宇宙科学研究所	池田大樹	東京都健康局府中療育センター
中瀬友和	東海大・大学院理(在学)	長澤倫康	神奈川大・理
田村健一	東大・大学院理(在学)/宇宙科学研究所	沖田容史子	京大・大学院理(在学)
吉田直紀	国立天文台	小野博之	東京理科大・大学院(在学)
今田 明	京大・大学院理(在学)	千貝 健	名大・大学院理・環境学研究科

* 準会員入会者 (9 名)

河嶋健吾	広島大・大学院理(在学)	右田雄二	広島大・大学院理(在学)
木原邦夫	広島大・大学院理(在学)	夫 才修	広島大・大学院理(在学)
阿部由紀子	広島大・大学院理(在学)	河野裕介	国立天文台
日下部展彦	東京学芸大・大学院(在学)	岸本 浩	兵庫県立須磨東高校
田所裕康	東北大(在学)		

* 賛助会員入会 (1 社)
(株)三省堂

* 移籍会員 (1 名)
[準→正] 望月優子 理化学研究所

* 正会員退会者 (4 名)
的川建史 車田浩道 松永健一 高橋大樹

* 準会員退会者 (6 名)
須藤 稔 俊野敬英 川井誠一 松永恒雄 尾形 健 大向純子

編集後記

天文月報にとって、この一年はちょっとした激動の時代でした。「激動」は、まず天文月報の「表紙」からやってきました。従来の高尚な図柄から急に可愛らしいイラストに変わったので、1月号をご覧になって驚かれた読者も多いと思います。

天文月報は、学会の色々な案内や天文に関する教育研究活動などを、皆さんに分かりやすくお伝えすることを目的としています。天文月報の主な読者は学会員ですが、教育研究に直接携わっていない天文愛好家の方々にも読んで頂いています。多くの人達にできるだけ親しみやすい印象をもってもらえるようにしよう、ということが、表紙のデザインを一新した動機でした。これは昨年秋の編集会議で決めたことでしたが、正直な所、もしかすると何らかの批判が出るのではないかと、という不安が少々ありました。しかし実際には、1月号が出版されて以来、表立った批判はありませんでした。もう少し硬いデザインの方が良いと思われる読者もいらっしゃると思いますが、見慣れてくると確かに親しみやすく暖かみのあるデザインで、良い選択であったと（少なくとも個人的には）思います。

天文月報の印刷も、諸々の事情で長年お世話になった松本印刷から国際文献印刷社に変更となりました。7月号からの変更でした。さらに、DTPのご担当だった峰尾由紀子さんがお引越することになり、11月号分からのDTP作業も外部に依頼することになりました。

これほどの変化があったので、ついでに天文月報のA4判化も編集会議で検討してみました。こちらの方は例外と割高であることが分かりましたので、向こう何年かは現行(B5判)のまま続けることにしました。

土橋一仁(天文月報編集長)

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 齋崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成15年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp